

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
馬路村	馬路地区(朝日出・日浦・影・相名・東川・中ノ川・土川) 魚梁瀬地区(魚梁瀬)	令和4年3月24日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	76ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	39ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	22ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) ②及び③は令和元年度実施の人・農地プランに係るアンケートと、令和2年度実施の中山間直払交付金の集落戦略のためのアンケートを基に算出。	

2 対象地区の課題

全体的に農家の高齢化が進んでおり、中には後継者不在の農地も多く、現在既にある中心経営体では受けることのできない面積となっており、新たな担い手の確保・育成が求められている。
また、農地の中には、狭い、農作業に十分な道が無い、農地自体が傾斜している、孤立農地であるなど、耕作条件の悪い農地も多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新たな担い手の確保のため、非農家の若者が農作業に触れられる機会を作ったり、年間スケジュールや年収のイメージがつかめるモデルケースの紹介等、新規就農者の掘り起こし及び育成を図る。

後継者のいない高齢農家等と、新規就農者や規模拡大の意向のある農家を結びつけ、売買や貸借を斡旋し、農地を次世代につなぐことを推進する。

ふるさとワーキングホリデー事業による収穫期の人手確保、農業用機械の共用、ドローンやラジコン除草機の導入等のスマート農業の推進、ユズの低樹高栽培の推進等、作業の省力化を図る。
また、耕作条件が著しく悪い農地については林地化も視野に入れ、耕作条件のいい農地が確実に守られるよう推進する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
到達	農業生産法人株式会社ゆず組合	ユズ、唐辛子	3 ha	ユズ、唐辛子	3 ha	村全域
集	集落営農組織愛稲の会	水稻	3 ha	水稻	3 ha	相名集落
計	2団体		6 ha		6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の斡旋について

主に後継者不在の高齢農家を対象に、売買・貸借について希望する条件の聞き取りを実施し、農地の耕作条件と合わせてリストを作成。

リストを元に農地を新たな担い手に紹介する等により、売買・貸借に繋げる。

基盤整備への取組方針

作業の省力化に寄与する耕作条件改善にかかる基盤整備事業の検討（区画整理、畦畔の除去等）

担い手の確保について

- ・就農の意向について情報収集し、積極的に働きかける。
- ・非農家の若者が農作業に触れる機会を作るため、援農隊事業を実施。
- ・一般的な農家の年間作業スケジュールや収入のモデルケースを紹介する資料の作成・配布
- ・水田の多面的機能維持のため、現状では赤字の農業となっている水稻栽培について、担い手確保の方策を検討する。

鳥獣被害対策に係る方針

- ・鳥獣被害防止柵の設置推進
- ・狩猟免許取得の推進、わなの導入・配布
- ・ICTによる捕獲技術の実証・導入の検討
- ・放任果樹の除去、追い払い等、集落ぐるみでの対策の検討

作業の省力化に係る方針

- ・農業用機械にかかる貸出・共用
- ・ドローン・ラジコン除草機の導入などスマート農業の検討・推進
- ・著しく耕作条件の悪い農地の林地化
- ・柚子の低樹高栽培の推進
- ・草刈作業の省力化のためのグランドカバー（草生栽培）等の省力的な営農技術の実証・検討・推進
- ・園内作業道の改良等、作業効率向上のための基盤整備
- ・ふるさとワーキングホリデー、援農隊事業の実施による人手不足の軽減